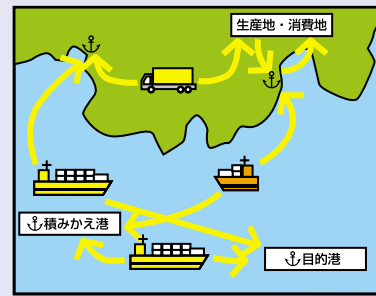


10年後の中部のすがた（整備効果）

1. 「ものづくり」を支え、国際競争力を強化します。

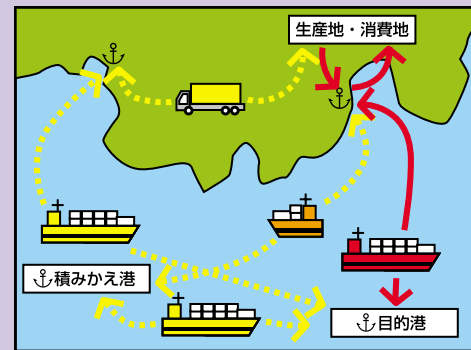


大水深ターミナル
(名古屋港・四日市港・清水港)
多目的国際ターミナル
(御前崎港等)の整備



中部国際空港へのアクセス時間が大幅に短縮

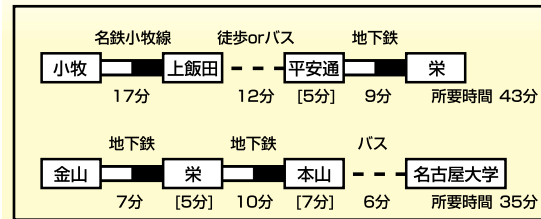
空港・港湾と一体となった
ネットワーク整備



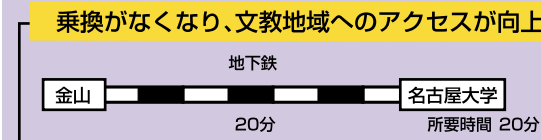
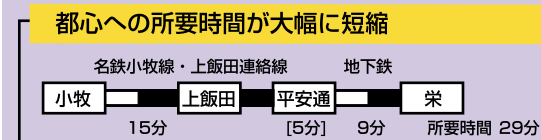
陸上・海上輸送の効率化により約1割のコスト削減

10年後の中部

3. 快適な生活環境と都心の利便性向上を図ります。



上飯田連絡線の
地下鉄4号線の
整備



例：一宮連立(愛知県)



例：富士見団地(静岡市)



資源の節約・排出ガス削減
燃料消費量172cc/km
(時速10km/h)
↓
燃料消費量62cc/km
(時速60km/h)

騒音レベルの低減
85.7dB
↓
69.7dB

バリアフリー化
0戸
↓
300戸(全戸)

規模改善
戸あたり床面積
44m²
↓
66m²

沿道環境が改善 資源の節約

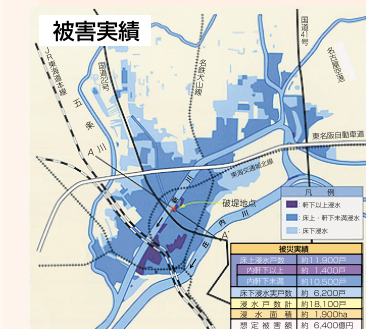
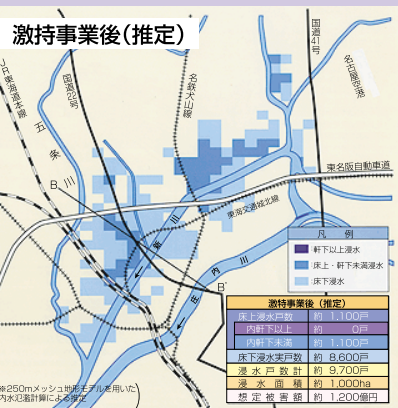


老朽公営住宅等の建替えによる居住水準が向上



激持事業により被害が軽減

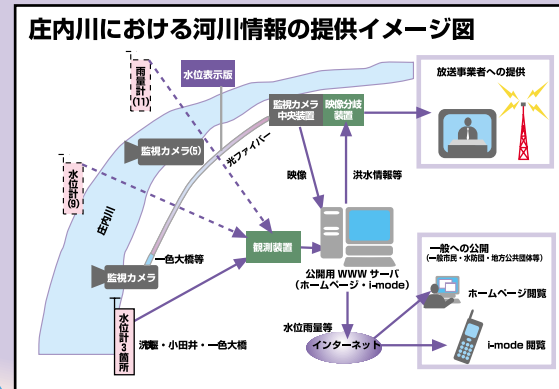
床上浸水 10,800戸減
被害総額 5,500億円減



ハード整備

ソフト整備

ITの活用により正確かつ迅速な情報提供



東海豪雨では甚大な浸水被害が発生しました

取扱旅客容量 約2,000万人/年

中部国際空港

発着容量 約13万回/年

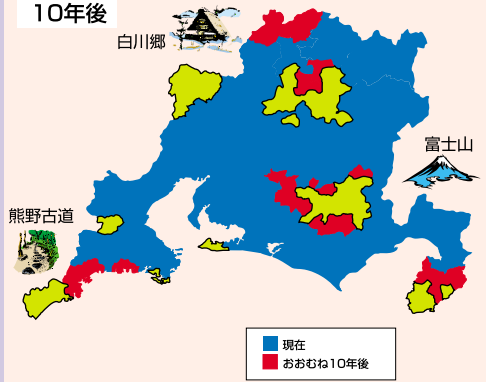
中部圏における航空需要増大に対応

旅客数 約1,060万人/年

名古屋空港

発着回数 約11万回/年

中部国際空港新設

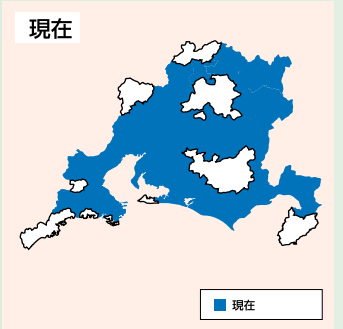


高規格アクセス1時間圏が拡大

86% (31,400km²)

76% (27,700km²)

高規格幹線道路の整備



2. 安全で災害に強い地域をつくります。

4. 世界に開かれた中部をめざします。